

看護部リスクマネージャーによる誤薬防止に関する取り組み

雁の巣病院看護部リスクマネージャーでは診療録（カルテ）を使用し下記の臨床研究を実施しています。
実施にあたり雁の巣病院倫理委員会の審査を受け、審査機関の責任者より適切な研究であると承認されています。

【研究の目的】

当院医療安全管理委員会では、毎月の委員会においてインシデント・アクシデントレポートの報告と分析を行っています。その中で、誤薬に関するレポートが後を絶たず続いていました。日々の臨床現場においては、服薬に関する多くの業務は主に看護師が関わります。レポート報告の集計・分析においても看護師が誤薬に関与する事故事例が多くみられていました。こうした背景もあり、看護部全体で服薬に関する業務や与薬方法の手順の見直しなど誤薬防止に向けた取り組みを実施しました。2023年に再度、誤薬防止に向けた業務の見直しを行い、看護部が取り組んだ誤薬防止のための活動過程を振り返り、今後の安全な医療の提供を行えることを目的にしました。

【研究方法】

・対象となる方について

2015年4月～2024年3月までに医療安全管理委員会に提出されたインシデント・アクシデントレポートから誤薬に関する報告書から抽出された事例。

・方法

2015年4月～2024年3月までに医療安全管理委員会に提出されたインシデント・アクシデントレポートから誤薬に関する報告書から抽出し、集計・分析しデータ化します。

【患者様の権利を守るために】

・個人情報の保護について

本研究は個人のプライバシーに関して細心の注意を払うとともに、調査の分析、結果においてすべて統計的に処理する為個人が特定できるような公表の仕方は致しません。

また、この調査で得られたデータが、本研究の目的以外に使用されることはありません。

・研究の意義

本研究では誤薬に関するデータの集計・分析と誤薬防止における活動過程を振り返り今後さらなる安全な医療の提供に繋がることを考えております。

・研究成果の公表について

研究の成果は、個人が特定できない形で第69回九州精神医療学会にて公表します。

【研究組織】

[研究指導者]	雁の巣病院	看護部		山口 幸子
[研究担当者]	雁の巣病院	看護部	A1病棟	和田 武法
	雁の巣病院	看護部	外来	安永 和博

【お問い合わせ先】

ご不明な点などがございましたら、いつでも下記までご連絡下さい。また、本研究はインシデントレポートより項目を抜粋して行う調査となりますので、オプトアウトという方法で行います。オプトアウトとは、お一人ずつ直接同意を得る代わりに、ホームページ上に研究情報を公開し、研究について患者さんが拒否できる機会を保障する方法のことです。本研究への協力を希望されない場合は下記までご連絡下さい。

[連絡先] 雁の巣病院 看護部 A1病棟 和田 武法

〒811-0206 福岡県福岡市東区雁の巣1-26-1 TEL 092-606-2861 FAX 092-607-2211